

特42

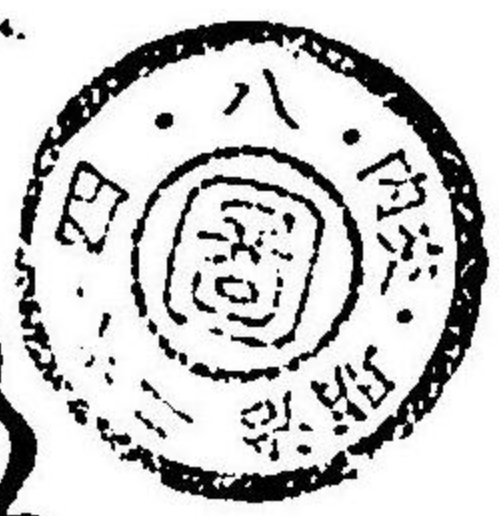
456

訂正
觀世流強内百拾番

通
卷

95

通感



早河

是^{早河}当阿波乃鳴渡より夏を渡りて

僧^{早河}も此浦の平家の二門

果^{早河}給^{早河}自^{早河}た^{早河}る^{早河}可^{早河}な^{早河}き^{早河}を^{早河}痛^{早河}り^{早河}く^{早河}ぬ

毎^{早河}度^{早河}此^{早河}破^{早河}邊^{早河}より出^{早河}く^{早河}清^{早河}經^{早河}を^{早河}よ^{早河}り

な^{早河}ら^{早河}の^{早河}心^{早河}も^{早河}も^{早河}出^{早河}く^{早河}弟^{早河}ひ^{早河}や^{早河}ら^{早河}も^{早河}と

男^{早河}作^{早河}儀^{早河}山^{早河}より出^{早河}く^{早河}岩^{早河}根^{早河}の^{早河}ま^{早河}つ

通感

程よくくたうあまのさきりけり
 音計の渡の浦お成と宵うさく
 せいせき山寺の鐘のきこは破ゆく
 せいせき入相こめいりうさく
 せいせきあくさるる自らの心
 せいせきと目とくれあひまきりくさく有
 きれいせきた考よ頼まぬはれ

行末の目数也
 海はあまのりよしまも良小舟
 舟よ考のさるる命のためよつふ
 月の出堀のあぬあみりも面白き浦
 秋の菊のつるり夕浪のあつと入
 仲よ雲つづく後路の鳴や静きえぬ

深^ニ中^ニの^ニつ^ニら^ニる^ニ悲^ニしく
 月^ニを^ニ望^ニみ^ニて^ニ清^ニき^ニあ^ニら^ニず^ニ母^ニを^ニた^ニく^ニあ^ニら^ニず^ニ
 ま^ニの^ニさ^ニら^ニり^ニや^ニ受^ニこ^ニり^ニて^ニ音^ニの^ニり^ニら^ニる^ニ後^ニ
 其^ニの^ニ雨^ニの^ニ声^ニの^ニな^ニら^ニず^ニ角^ニの^ニな^ニら^ニず^ニあ^ニら^ニず^ニの^ニ音^ニ
 ひ^ニる^ニ物^ニも^ニあ^ニら^ニず^ニ松^ニの^ニ葉^ニの^ニ現^ニれ^ニる^ニ経^ニの^ニ色^ニ
 ぬ^ニれ^ニよ^ニつ^ニま^ニり^ニて^ニか^ニつ^ニら^ニず^ニや^ニ楫^ニの^ニ音^ニと^ニ志^ニ
 の^ニさ^ニら^ニり^ニを^ニ押^ニ入^ニて^ニ聴^ニか^ニす^ニも^ニや^ニと^ニ思^ニふ^ニ

甲上
 今^ニも^ニ此^ニの^ニあ^ニら^ニず^ニの^ニ仲^ニの^ニ音^ニす^ニら^ニる^ニ身^ニ
 定^ニめ^ニぬ^ニ海^ニの^ニ釣^ニ舟^ニの^ニ音^ニす^ニら^ニる^ニ身^ニ
 子^ニ細^ニき^ニ此^ニの^ニ破^ニら^ニる^ニ音^ニを^ニ給^ニふ^ニ身^ニ
 随^ニひ^ニら^ニり^ニよ^ニせ^ニん^ニて^ニ二^ニ人^ニの^ニ僧^ニの^ニ岩^ニ
 乃^ニ上^ニの^ニい^ニら^ニり^ニぬ^ニ舟^ニの^ニ陰^ニあ^ニら^ニず^ニ
 火^ニの^ニ陰^ニを^ニ假^ニ初^ニの^ニ音^ニを^ニ用^ニひ^ニて^ニ讀^ニ誦^ニす^ニら^ニる^ニ
 引^ニ籠^ニや^ニい^ニら^ニり^ニも^ニさ^ニら^ニず^ニの^ニ音^ニを^ニ思^ニふ^ニ

了。妻くは物語人 シテ 伝ふるも或る

る。物又ハ海もも何とて中も

小宰相の局ウや諸友は物語人

去程シテ平家の二門馬よを改め海

士の小船シテよ舞うつづ月よ棹さの時

あはれ シテ 宴たもも数りまゝま

浦シテさる敵シテたれはまてさるるも借

む。哉シテ花のころ鳴や浪路さるは

あはれよさるシテきり シテ 去程よ小宰相

の房乳母シテちつシテきあやシテ何と加思

が。棟もも人の都シテまシテるシテ浦感

討シテぬシテ程を頼みシテあシテるシテまシテ此海

沈シテまシテあシテるシテ手を取組シテあ

るシテよシテらシテまシテあシテるシテ海シテはシテた

きりまきしりも 沉上音けりまきしりも
後上音の意上音て字上音も現上音 西上音へとも月
れん上音く其上音方上音もまの大方上音の上音
あや上音る上音し上音ん上音あ上音き上音も上音共上音よ上音曇上音る上音賢上音
乳上音母上音あ上音く上音く上音ま上音付上音て上音此上音時上音の上音お上音思上音ひ上音君上音
一人上音は上音限上音り上音の上音ま上音り上音ま上音り上音終上音く上音と上音清上音夜上音
乃上音油上音よ上音ら上音つ上音く上音と上音ら上音つ上音ま上音る上音と上音海上音又上音入上音と上音

乃上音き上音考上音人上音も上音同上音一上音み上音ら上音塩上音の上音底上音の上音み上音
つ上音と上音油上音よ上音き上音く上音 此上音油上音の上音楷上音ひ上音
て上音ウ上音ク上音人上音も上音便上音さ上音の上音方上音便上音品上音と上音角上音油上音
も上音る上音 如上音神上音昔上音の上音願上音 今上音者上音已上音満上音足上音
但上音一上音切上音之上音生上音皆上音自上音今上音入上音仏上音道上音に上音 通上音感上音又上音故上音
は上音經上音よ上音く上音ま上音り上音て上音立上音海上音の上音良上音の上音 甚上音う上音る上音程上音
は上音清上音法上音や上音お上音ま上音り上音 今上音者上音已上音満上音足上音の上音も上音亦上音故上音め上音

きつは家の後継りくたして給ふま
ある人あてまひ今こゝろ名計のま
消息のあはれ行成りあるまは
宰相の局の幽宮也上は一人
甲冑を穿て其具をくみ給ふ
る成人あてまひ今こゝろ是れ
田の森の合戦はむらと天下

あまき武將たりはまれと新あはれ位
通感じと語くを為よ見よ顯き
かろありサレ抑此一谷と申す前
海と喚しむる都城は鳥あ
てかきつとく歎もあまう入
地はつら上の幾度も手陣
を公行あまうやと中はねと入

通感

あつらふさるる。痛感も具陸天。あつら
むのせく。我陣は海り。ボ宰相の房は
向カハカ既軍。明日よまき。ハまるの。痛
り。ハハ牙ハ通感。なつて。此うら。頼
女。まの。あ。げ。ま。さ。も。か。も。成。ち。あ。る。
勢。ま。う。つ。り。息。ひ。ハ。あ。は。断。と。り。て。た。ひ
終。が。お。お。惜。ま。の。た。益。痛。感。節。と。ま。り

あつらふさるる。宵のまき。うさく。牧師
むつ。と。と。た。へ。ハ。唐。の。頂。羽。高。祖。の。責
ま。う。き。む。の。唐。氏。の。後。も。具。よ。ハ。い。つ。て
増。え。ん。き。燈。暗。り。し。て。月。の。光。よ。さ。り
向。ハ。誇。り。慰。め。る。處。よ。ハ。合。弟。の。融。登
守。も。や。甲。冑。と。う。ら。ひ。つ。て。痛。感。ハ。行
き。な。し。と。思。ふ。ら。る。る。よ。う。と。思。ふ。ら。る。る。

具ツまマじシのノ養ヤウもモつツもモ能ネやヤ守シつツ弟テイ
とトもモあアらラせセんン也ヤ人ニンよりヨリ殺コロさサるル也ヤ湖コ
やヤてテらラらラせセてテ行ユクゆユけケれレ無ム一イチ言コトのノ可カ
かカらラ其ソノ處トコロのノ出デるルなナらラまマうウひヒらラぬヌ

去キ程コト又マタ合カ戦ゼンをシまマしシ申マウりリ六ロク但タ馬バ守シ經キョウ
正マサもモうウ也ヤ討ツクもモあアらラせセぬヌ也ヤ軍イクサ部ブ拏ナ薩サツ身シン
忠チウ度トのノ早ハヤいイらラまマ 毘ヒ部ブ乃ノ六ロク年ネン也ヤ

忠チウ誠セウとトあアらラせセてテ討ツクまマしシらラるル天テン晴セイ雨ウ感カン

まマもモあアらラせセぬヌ也ヤのノ討ツク死シをシとト侍シあアらラせセぬヌ也ヤ
ぞゾうウあアらラせセぬヌ也ヤのノ敵テキよヨらラぬヌ也ヤのノ國クニにニ往ユク
人ヒトあアらラせセぬヌ也ヤのノ源ゲン五ゴ重ジュウ章ショウらラ鞭ヒとトあアらラせセぬヌ也ヤ
てテもモあアらラせセぬヌ也ヤのノ天テン晴セイ雨ウ感カンもモあアらラせセぬヌ也ヤ
らラせセぬヌ也ヤのノ甲カウにニあアらラせセぬヌ也ヤ
らラせセぬヌ也ヤのノ甲カウにニあアらラせセぬヌ也ヤ
らラせセぬヌ也ヤのノ甲カウにニあアらラせセぬヌ也ヤ

忠誠

七

